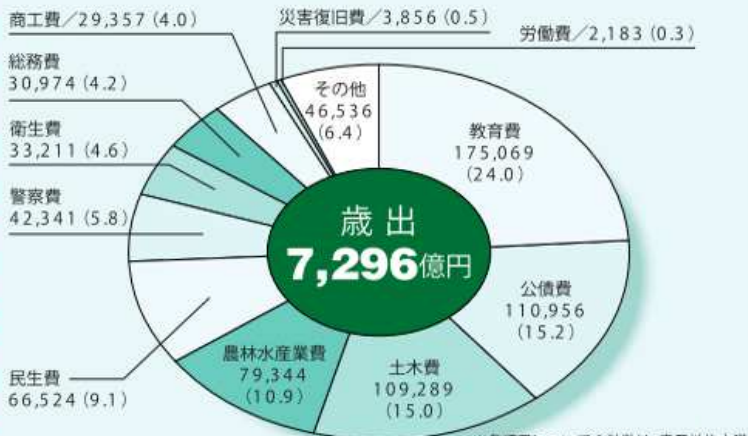


平成17年度予算のすがた(一般会計)



※各項目についての計数は、表示単位未満を四捨五入したもので、その内訳は、合計と一致しない場合があります。

県の予算を県民1人あたりに換算すると…

県民1人当たりの歳出額/約39万4千円

- 教育や文化の振興に(教育費)……………約9万4千円
- 道路・公園・下水道の整備に(土木費・災害復旧費)…約6万1千円
- 借入金の返済に(公債費)……………約6万円
- 福祉の向上や健康づくり、環境保全などに(民生費・衛生費)…約5万4千円
- 農林水産業の振興に(農林水産業費)……………約4万3千円
- 犯罪の起きにくいまちづくりや交通事故の防止に(警察費)…約2万3千円
- 商工業の振興や雇用創出に(商工費・労働費)……………約1万7千円
- 地域の振興や防災対策に(総務費)……………約1万7千円
- その他……………約2万5千円

(注)平成17年度一般会計当初予算を、県の人口(1,852,008人、平成17年2月1日現在)で割りました

県政運営の基本であるユニバーサルデザインとパートナーシップの定着を図ります

ユニバーサルデザインを広めます

すべての人が生活しやすい社会を実現する「ユニバーサルデザイン(UD)」の考え方を踏まえ、ノンステップバス[※]の導入支援や、県有施設をはじめ建築物や住宅、道路などのUD整備を進めます。



主な事業

- だれもが利用しやすいノンステップバスの導入支援…40百万円
 - 「くまもとUDフォーラム2005」(仮称)の開催…5百万円
- ※乗り降りを簡単にするために床面を低くしてあるバス

パートナーシップを進めます



県民の皆さん、NPO(民間非営利組織)、大学、企業などと県との「パートナーシップ」を進めていくために、さまざまな分野で各種施策に取り組みます。

主な事業

- NPOなどとの協働による新たな仕組みづくりや活動の支援……………9百万円
- 県民参加による道路・公園の美化活動、川や森林の環境保全活動……………2億14百万円
- NPO・大学・企業などとの協働による各種取り組み…2億13百万円

社会情勢の変化による課題などに対応した取り組みを進めます

市町村合併を支援します

合併市町村の新たなまちづくりへの総合的な支援や合併新法に基づく合併の推進に取り組みます。



主な事業

- 2月に誕生した南阿蘇村
- 新市町村づくりのための道路整備事業…60億27百万円
- 市町村合併特別交付金による助成……………8億円
- 市町村合併新法による合併推進事業……………14百万円

お問い合わせ先/熊本県財政課 ☎096-383-1111(内線3273) FAX096-382-7815
電子メール zaisei@pref.kumamoto.lg.jp ホームページ http://www.pref.kumamoto.jp/estimate/index.asp

春のやわらかい日差しの中で、夢や希望を抱き、新たなスタートを切られた方々も多いのではないのでしょうか。熊本県でも、今回ご紹介しておりますように、平成十七年度予算をスタートさせました。

景気・経済や国の「三位一体の改革」など先行きが不透明であり、厳しい財政状況にありますが、歳入・歳出の両面にわたる徹底的な見直しとともに、将来を見据えた必要な事業への予算配分は惜しまないという視点から、「産業の元気づくり」をはじめとした六分野に重点的に取り組むこととしております。

本県には、全国の七年先を歩む超高齢社会の現実などを踏まえ、地域社会・経済の活性化や次世代育成支援をどう図っていくのか、また、六年後に迫る九州新幹線の全線開業や水俣病対策、川辺川ダム事業といった喫緊の課題など、直面するさまざまな課題があります。これらに的確に対応し、「元気で明るい熊本」の実現に取り組みねばなりません。



熊本県知事 瀬谷義子

知事室から

また同時に、そうした取り組みを支える持続可能な行政基盤の確立が不可欠であり、今回策定した「行政改革基本方針」に沿って、県民の皆様様の御理解の下、積極的な行政改革を進めたいと考えております。

これからも、「県民中心」を基本に、誰もが住みやすい、住み続けたいと思える熊本づくりを、県民の皆様と共に全力で進めて参ります。